

上池袋地区

題字: 西村鵲洞 氏

まちづくり～生活環境の向上をめざす～ニュース

平成22年11月発行

発行: 上池袋まちづくり協議会

豊島区住環境整備課

企画・編集: まちづくりニュース編集委員会

No.47

上池袋まちづくり協議会 平成22年度の活動状況について

平成22年5月20日、第1回全体会を開催し、平成22年度の活動方針と実施スケジュールについて、地区別に話し合い、決定しました。それに基づいた活動が始まっています。

第1地区

- ◎ 7月30日、第1回協議会の実施
- ◎ 8月21日、第2回協議会（講演会）の実施

まちづくり構想を考える

（上池袋1丁目、第1区民集会室で活動中）



第2・3地区

- ◎ 6月23日、第1回協議会の実施
- ◎ 10月1日、第2回協議会の実施

まちづくり構想を考える

（上池袋2丁目、第1まちづくりセンターで活動中）

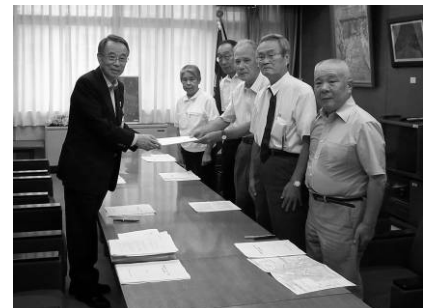


第4地区

- ◎ 6月22日、第1回協議会の実施
- ◎ 8月10日、第2回協議会の実施
- ◎ 10月22日、区長提言書・要望書提出

地区計画素案を策定する

（上池袋4丁目、第2まちづくりセンターで活動中）



全体

- ◎ 6月27日、池袋第一小学校合同防災訓練の参加



『阪神・淡路大震災の語り部と語り合う会』を行いました。

平成22年8月21日午後3時～ 第1区民集会室 語り部：野村勝氏

会ではまず、野村氏から、阪神・淡路大震災の体験談を語って頂きました。



野村氏は、一九九五年一月十七日の阪神・淡路大震災の時、神戸市消防署員として最も被害の激しい長田区への出動を命じられました。

自らの家族も長田区内の被災地にあり、安否確認も取れない中、危険と背中合わせの現場で、体が動く限りの対応を続けられました。

現場では、消火栓が使えず、貯水槽も少なく、消防隊員として、消火活動も、救助活動も満足にできず、とても悔しい経験をされました。

その後、自宅がある新長田北地区に土地区画整理事業の話が神戸市から持ち上がった時、火災時の悔しかった経験を、災害に強い復興まちづくりに生かさなければならぬと考えていた野村氏は、まちづくり協議会長として、復興まちづくり活動に全精力を投入します。

廃墟と化したわが町の将来を考える途方にくれることも度々あったといわれますが、住民同士の話し合いを何百回と繰り返し、神戸市に次々と要望書を提出し、復興まちづくり活動を先導されてきました。

大規模災害では、行政が出来ることに限度があることを実感した野村氏は、市民主体の復興、防災まちづくりの重要性を認識し、そのことをまちづくり協議会で実践されてきたといえます。

現在は、これまでのご経験やノウハウを、語り部として全国に発信すると同時に、野村防災研究所を設立し、安全なまちづくりのための指導に当たられています。



野村氏のお話の後、上池袋地区のまちづくりについて、参加者と活発な意見交換が行われました。語り合う会が終わった後も、引き続き懇親会にて意見交換が行われ、盛況のうちに終わりました。

～参加者の声～

- 当時、どこか他人事感じていたが、改めて映像を見るとその凄まじさに驚いた。
- 地震で建物が倒れて道を塞ぐ様子が良く分かり、道路幅員の確保が重要と感じた。
- 行政による公助には限界があり、地域住民で助け合う共助の大切さを知った。



語り部・・・野村勝氏

元神戸市消防司令補

新長田北安心安全コミュニティ推進協議会 会長

細田・神楽まちづくり協議会 会長



第1地区 今後の活動予定

11月

『まちづくり構想』
の課題を考える



『まちづくりルール』
と『まちづくり構想』
のアンケート

今後は、昨年度から検討している『まちづくりルール（たたき台）』をさらに深めて『まちづくり構想』を作成していきます。上池袋1丁目にお住まいの皆様の参加をお待ちしております。ご興味のある方は、裏面の事務局までご連絡下さい。

区長に

『上池袋第4地区まちづくり構想に関する提言書』
『国立印刷局池袋宿舎跡地に関する要望書』

を提出しました。

協議会は、豊島区高野区長に対し、平成22年9月22日、昨年度よりまとめてきた「まちづくり構想」を区長提言しました。高野区長からは、「区も地域と連携しながら提言を生かす努力をしていきたい」との回答がありました。



また、「国立印刷局池袋宿舎跡地に関する要望書」を提出しました。跡地の必要性を説明したのに対し、区からは、現在印刷局と交渉中であること、この要望は地元の意見として印刷局に伝えるとの回答がありました。

地区計画素案たたき台の検討

現在、協議会では地区計画素案たたき台の作成に向けて、道路に関するルール、建物に関するルールなどをまとめています。

どのようなルールがふさわしいか、地区住民の皆様にも伺うため、地区説明会を実施します。今後、詳しい案内をいたしますので、ご参加くださいますよう宜しくお願いいたします。

地区計画とは・・・

地区の「まちの将来像」に向けて、建て替えなどの機会を利用しながら、まちの課題を解決していく都市計画法に定められた制度。



第4地区今後の活動予定

11月

地区計画素案たたき台の作成

12月・1月

地区計画素案たたき台の地区説明会・意見交換の実施

2月

地区計画素案のアンケート実施

3月

地区計画素案のまとめ

全体

地域合同防災訓練(池袋第一小救援センター)に参加しました

～参加者の声～

この地区に、まちづくり協議会があることや、様々な活動をしていることを始めて知った。

活動内容をまとめたパネル



平成二十二年六月二十七日(日)、池袋第一小学校にて、例年になく多くの参加者(約三百二十人)により、地域合同防災訓練が実施されました。

上池袋まちづくり協議会のブースではパネルを展示しました。参加者にはリーフレットの配布及び、協議会の説明やクイズを出しました。

上池袋第2・3地区まちづくり協議会では、昨年度参加した『復興まちづくり訓練』で学んだことをもとに、『まちづくり構想』の方針についてまとめていきます。

『復興まちづくり訓練』から出た課題

- さくら公園を防災拠点として整備する
- オープンスペースの確保
- 道路の路線や幅員を考える

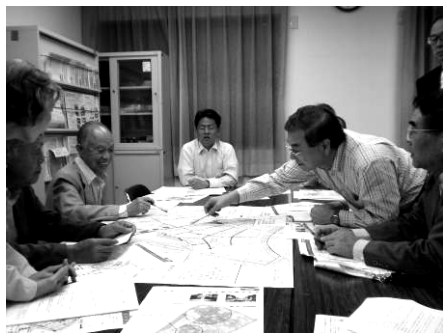
現在の防災まちづくりの課題

『まちづくり構想』の策定

第2・3地区 今後の活動予定

12月
道路のあり方を検討する

3月
『まちづくり構想』の課題
と方向性を考える



上池袋2・3丁目にお住まいの皆様へ

まちづくり協議会に 参加しませんか？

現在、協議会では委員を募集しています。町会や池袋本町ふれあいまつり等で、参加募集のチラシを回覧、配布いたしました。ご協力ありがとうございました。

上池袋2・3丁目を、将来、子どもたちにどのようなまちとして残すべきかを考えるのが、今後、検討する『まちづくり構想』です。

ご興味のある方は、是非、下記事務局までご連絡ください。

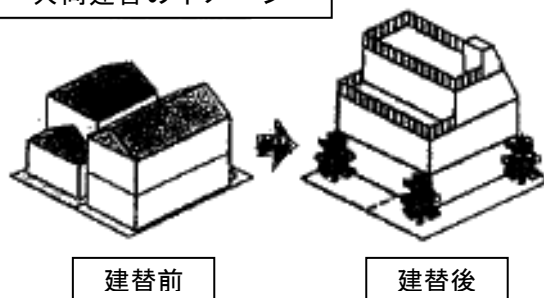
上池袋地区の共同建替えを応援しています

「建替促進助成制度」のご案内

この制度は、上池袋地区において、老朽化した建物を除却し、隣接する複数の敷地と共同化して一棟の新しい建物（共同住宅）を建替る際に費用の一部を助成するものです。

この助成を受けるには、敷地の最低面積や計画される建物の住戸の大きさ・仕様など一定の条件があります。詳しくは住環境整備課までお問い合わせ下さい。

共同建替のイメージ



👉 ご連絡お待ちしております！

まちづくり協議会では委員さんを大募集しています。詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

〒170-8422 東京都豊島区東池袋 1-18-1

豊島区都市整備部 住環境整備課 上池袋地区グループ TEL 3981-1464

平成22年11月発行「上池袋地区まちづくりニュースNo.47」

発行：上池袋地区まちづくり協議会・豊島区都市整備部住環境整備課

企画・編集：上池袋まちづくりニュース編集委員会

上池袋まちづくり協議会事務局（豊島区都市整備部住環境整備課）

編集協力：防災都市計画研究所 TEL 3262-6376